

闘虎

No. 37 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成26年 冬季号



木村と齋藤が優勝！館高2階級V！

正田杯 関東高校選抜レスリング大会

2月1・2日、山梨県小瀬スポーツ公園武道館で「正田杯関東高校選抜レスリング大会」が行われた。昨年以上に戦力が充実した館林高校は、団体戦での優勝が大いに期待された。決勝の相手は昨年と同じ霞ヶ浦高。66kg級まで3勝を挙げ、先に王手をかけたが、74kg級で「あと1点」に泣き、その後の階級も落とし3勝4敗で惜敗した。個人戦では、その鬱憤を晴らすかのようなメダルラッシュに沸き、木村と齋藤が優勝。館高からの優勝は増谷剛以来6年ぶり。また、館高の2階級Vは、長島正彦・和幸兄弟以来16年ぶり。

【個人戦】◇50kg級 ③寺田有輝（館林） ◇60kg級 ②佐々木拓海（館林）
◇66kg級 ①木村優太（館林） ◇74kg級 ①齋藤隼佑（館林） ②田口拓海（同）
◇84kg級 ③勅使川原延明（前西） ◇96kg級 ②緒方竜成（館商工）※3位以内入賞者のみ。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第37回
群馬大学



先輩の五輪出場が決定！
目標は全国そして世界！

3年 主将 稲田 貴

群馬大学レスリング部は、当時、渋谷和朗さんが6名の同級生を集めて発足し、部長の柳川益美先生（現協会会長）のもと、創部して37年になります。過去には、全日本選手権や大学選手権で入賞するなど少人数ながらも、東日本学生リーグ一部所属で唯一の国立大学として、素晴らしい成績を先輩方が残してきています。そのことを励みにし、昨年も全日本選手権出場、アジアジュニア選手権入賞などの結果を残しています。

現在は、監督・コーチ3名、選手3名（男子2名・女子1名）と少ない人数ですが、日体大や群馬県内の高校の練習に参加するなど出稽古を計画的に取り入れています。柳川美鷹監督や正保佳史コーチ・岩永竜太コーチは、技術指導でスパarringに加わり汗を流すこともあり、正確な技術と実践的な指導を受け、恵まれた指導者のもとで、一人ひとりが志し高い目標を掲げ、レスリングに対して真摯に取り組んでいます。また、学生は教育学部に在籍しており、監督・コーチは教育に携わっているため、レスリングの技術だけでなく、指導者としての資質も培っていきたいです。

SCHEDULE

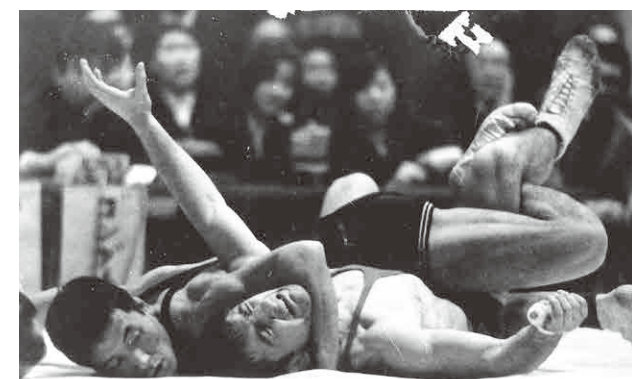
■全国少年少女選抜大会
3月8日（土）・9日（日）
青少年オリンピックセンター

■全国高校選抜大会
3月27日（木）～29日（土）
新潟市体育館

■ジュニアクイーンズ
カップレスリング大会
4月6日（日）
駒沢オリンピック公園体育館

■JOCジュニア
オリンピックカップ
4月26日（土）・27日（日）
横浜文化体育館

■群馬県高校総体
5月9日（金）～11日（日）
館林市民体育館



森田 武雄さん（館林市・71歳）

レスリング
（思い出の一葉）

□この写真は昭和43年3月、全日本選手権（代々木）での1枚で、相手はアドルフ・ペコフ選手（ミュンヘン五輪金メダリスト）です。この年の全日本に、ソ連選手が多数進出した大会でした。私の写真といえば、これがよく使われ、日本レス協HPでは、「日本レスリング史上、寝技の強さは笹原正三と双璧」と私のことを紹介してくれています。この年の世界選手権（アルゼンチン）では優勝することができました。また、館林高校教員5年目となった翌年、館林市で行われたインターハイでは、団体優勝に導くことができました。まさに、私のレスリング人生で最も充実していた時期です。思えば、正田先生、野木村先生、そして館高の恩師・久保田先生、みんな情熱あふれる指導者でした。この情熱を忘れず繋いでいけば、群馬のレスリングは、永久に栄えていくと思います。



木村優太・齋藤隼佑 両選手 (館林高校)

【木村】関東選抜は、あくまで全国選抜の通過点。優勝して当然という気持ちで臨みましたが、優勝した瞬間は、ホッとしました。全国選抜では、もちろん優勝を狙います。

【齋藤】全国選抜につながる大事な試合だったので、優勝するぞという気持ちでがんばりました。県新人戦で負けていたので、勝ててうれしかったです。全国選抜での目標は、優勝です。

12月25日(水)、富士緑体育館において「JOC関東ブロック予選会」が行われた。4月のJOC本戦を賭けた大会で、佐々木拓海ら館高勢3人が優勝した。

3位以内入賞は次のとおり。

【ジュニア】◇50^{kg}級 ③川島裕紀(関学) ◇55^{kg}級 ③関野魁童(館林)

③萩本龍(同) ◇60^{kg}級 ①佐々木拓海(館林)

①41^{kg}級 ◇85^{kg}級 今村直樹(滝田道場)

①フレッシュマンズ ◇63^{kg}級 A 松井大二(太田クラブ)

佐々木拓海ら館高勢が 3階級で第1位通過！ JOC関東ブロック予選

12月7日(土)、千代田町総合体育館において「第19回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われ、増山汐音MVP獲得！

小林久美も激戦区V！

千代田町近接少年大会

木拓海(館林) ◇66^{kg}級 ①木村優太(館林) ◇74^{kg}級 ③齋藤隼佑(館林) ◇96^{kg}級 ③緒方竜成(館商工)

①カデット ◇46^{kg}級 ③吉岡翔一郎(西邑楽) ◇50^{kg}級 ②寺田有輝(館林) ◇58^{kg}級 ③川上直也(館林) ◇85^{kg}級 ②勅使川原延明(前西) ◇100^{kg}級 ③吉沢瑠依(館林) ③横倉朝生(大泉)

た。全国選抜王者であり、地元・千代田のクイーン・増山汐音がすっかり自信を付け優勝。中学生の部で、最優秀選手賞を獲得した。さらに、小林久美も激戦区で優勝。千代田ジュニアのWクイーンが強さを発揮した。中学男子では、明和の藺田仁紀が、一人気を吐き優勝した。

優勝者は次のとおり。

【小学3～4年男子】 ◇145^{kg}級 城所拓馬(OA)

【小学3～4年女子】 ◇37^{kg}級 小林久美(千代田)

【小学5～6年女子】 ◇41^{kg}級 石井亜海(OA)

【中学生男子】 ◇53^{kg}級 藺田仁紀(明和)

【中学生女子】 ◇52^{kg}級 杉山絢海(邑楽) ◇58^{kg}級 増山汐音(千代田)

◇70^{kg}級 小林奏音(邑楽)



金子和・木村安里・増山汐音に続け！小林久美

2月23日(日)、城沼総合体育館において「関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。地元・館林ジュニアから4選手が決勝まで進むも、優勝まで届かずの中、邑楽ジュニアの藤倉健吾が見事優勝した。

優勝者は次のとおり。



兄妹優勝を果たした藤倉健吾と優花

【中学生女子】 ◇58^{kg}級 増山汐音(千代田)

【中学生男子】 ◇53^{kg}級 藤倉健吾(邑楽)

【小学3～4年女子】 ◇24^{kg}級 田口利奈(上州トレジャー) ◇45^{kg}級 藤倉優花(邑楽)

【幼年】 ◇24^{kg}級 松井礼士(マツトジャガース)

松本篤史(ALSOK) 天皇杯優勝！

天皇杯全日本選手権大会

12月21～23日、代々木第二体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。今年度全日本選抜・国体王者の松本篤史の決勝の相手は、説明不要の松本真也(警視庁)。この日は終始冷静に攻め立てたが、不意な失点もあり、10対6の判定勝ち。宿敵の心を折るためには、失点0の完勝としたい。ロンドン五輪銅、兄の松本隆太郎は、決勝まで進出したが、練習相手の後輩・音泉(ALSOK)に敗れたものの、66^{kg}級で十分通用することを示した。



順調な仕上がりを見せ、天皇杯を制した松本篤史

【男子フリー】 ◇84^{kg}級 ①松本篤史(ALSOK)

【男子グレコローマン】 ◇66^{kg}級 ②松本隆太郎(群馬ヤクルト販売)

高橋幸大MVP獲得！

邑楽jr6階級で優勝！

館林市スポ少交流大会

1月19日(日)、城沼総合体育館において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。最も試合数が多い階級で優勝した選手に贈られるMVPは、中学生の部で高橋幸大(邑楽)が獲得。邑楽ジュニアは6階級で優勝した。

優勝者は次のとおり。

【中学生男子】 ◇42^{kg}級 木村智洋(館林) ◇47^{kg}級 高橋幸大(邑楽) ◇53^{kg}級 藤倉健吾(邑楽)

◇74^{kg}級 野本州汰(館林)

【中学生女子】 ◇Division B 杉山絢海(邑楽) ◇Division C 増山汐音(千代田) ◇Division D 小林奏音(邑楽)

【5～6年男子】 ◇30^{kg}級 高橋一輝(千代田) ◇57^{kg}級 中里優斗(OA)

【5～6年女子】 ◇Division B 清水星那(邑楽) ◇45^{kg}級 藤倉優花(邑)

【3～4年】 ◇45^{kg}級 藤倉優花(邑)

今村直樹不滅のV9！ 松井大二息子へV贈！ 全日本マスターズ選手権

1月12日(日)、国立オリンピック青少年センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。連勝中の今村直樹が優勝、連覇を「9」に伸ばした。また、新人お父さんレスラー松井大二が、OSAでレスリングをしている二人の息子(松井勇斗・礼士)の眼前で優勝を果たした。

優勝者は次のとおり。



最優秀選手賞を獲得した高橋幸大(邑楽jr)

なでしこGUNMAの レスクイーン



太田商業高校レスリング部
鈴木 芽衣さん(1年)

一つの技でもいろいろなパターンがあって、今まで以上にレスリングの幅が広がること。チビッコレスリングと高校レスリングの違いは、そういうところだと思います。長島先生のご指導は、技術のレベルが高く、細かいところまで説明してくださるので、とてもわかりやすいです。長島先生の技術を身に付けられれば、全国でも勝てると思います。これからも天皇杯や海外の試合に出場して、伊調馨さんのように、オリンピックで金メダルを獲ることが私の夢です。高校を卒業したら、姉(鈴木紅夏)のように東洋大学でレスリングを続けたいと思います。